

平成26年度教育事業
～吉備の森 自然体験会～

平成26年10月18日（土）～平成27年3月15日（日）

1. 事業の目的(趣旨・ねらい)

家族で天体観察及び自然探究や自然素材を利用したクラフトなどの活動をとおして、家族のふれあいの大切さを感じるとともに、壮大な宇宙の美しさや不思議さを感じ、自然に対する感性や探求心を高める。

2. 事業の概要

(1) 開催日

- ① 10月18日（土）～10月19日（日）《チアフルデーでいろいろ体験》
- ② 11月 7日（金）～11月 8日（土）《キラキラ砂鉄（砂金）をみつけよう》
- ③ 11月14日（金）～11月15日（土）《野外で作ろうダッチオープンランチ》
- ④ 11月21日（金）～11月22日（土）《どんぐり動物園をつくろう》
- ⑤ 12月12日（金）～12月13日（土）《松ぼっくりクリスマスツリー作り》
- ⑥ 12月20日（土）～12月21日（日）《蔓のクリスマスリース作り》
- ⑦ 12月27日（土）～12月28日（日）《いい年明けを迎えようしめ飾り作り》
- ⑧ 1月 5日（月）～ 1月 6日（火）《高く飛ばそう凧作り》
- ⑨ 1月24日（土）～ 1月25日（日）《どんぐりパンケーキをつくろう》
- ⑩ 2月 6日（金）～ 2月 7日（土）《地球を科学しよう化石のレプリカ作り》
- ⑪ 2月10日（火）～ 2月11日（水）《火は友達！焼き板を作ろう》
- ⑫ 2月27日（金）～ 2月28日（土）《オリジナル5寸釘ナイフをつくろう》
- ⑬ 3月 7日（土）～ 3月 8日（日）《家族で一体感！冬テント泊体験》
- ⑭ 3月14日（土）～ 3月15日（日）《地球を科学しよう！化石発掘》

各回1泊2日

※下線の回は「人と科学の未来館（サイピア）」にてプラネタリウム鑑賞の後移動

(2) 募集人員

各回幼児、小学生を含む12家族程度

(3) 参加者

- ① 18家族（69名）
- ② 5家族（17名）

- ③ 6家族 (16名)
 - ④ 5家族 (17名)
 - ⑤ 7家族 (20名)
 - ⑥ 4家族 (15名)
 - ⑦ 3家族 (10名)
 - ⑧ 2家族 (8名)
 - ⑨ 4家族 (15名)
 - ⑩ 2家族 (4名)
 - ⑪ 4家族 (10名)
 - ⑫ 1家族 (4名)
 - ⑬ 5家族 (18名)
 - ⑭ 12家族 (38名)
- } 予定

(4) 講師

- ・内容：「天体観察」（すべての回）
 講師：国立吉備青少年自然の家 所長 小林 道正
 外部研修指導員 前田 文男, 早原 功記
- ・内容：「キラキラ砂鉄を見つけよう」
 講師：国立吉備青少年自然の家 所長 小林 道正
 事業推進係員 黒田 雅秀
- ・内容：「ダッチオープンランチ」
 講師：国立吉備青少年自然の家 事業推進係員 黒田 雅秀
- ・内容：「どんぐり動物園」
 講師：国立吉備青少年自然の家 事業推進係員 河内 裕美
- ・内容：「松ぼっくりクリスマスツリー」
 講師：国立吉備青少年自然の家 事業推進係員 森野 敏子
- ・内容：「蔓のクリスマスリース」
 講師：学校法人 吉備高原学園 吉備高原学園高等学校 実習教員 大西 俊宏
- ・内容：「しめ飾り」
 講師：国立吉備青少年自然の家 事業推進係長 曾根 伸介
- ・内容：「凧」
 講師：学校法人 吉備高原学園 吉備高原学園高等学校 講師 花田 智史
- ・内容：「どんぐりパンケーキ」
 講師：国立吉備青少年自然の家 事業推進係員 大木 洋平
- ・内容：「化石のレプリカ」
 講師：国立吉備青少年自然の家 所長 小林 道正
 事業推進係長 曾根 伸介
- ・内容：「焼き板作り」
 講師：国立吉備青少年自然の家 事業推進係員 西谷 諭

- ・ 内容：「5寸釘ナイフ」
講師：国立吉備青少年自然の家 事業推進係員 佐伯 大亮
- ・ 内容：「冬テント泊」
講師：国立吉備青少年自然の家 事業推進係員 齊藤 実昭
事業推進係員 黒田 雅秀
- ・ 内容：「化石発掘」
講師：なぎビカリアミュージアム 柴田 守
芦田 一郎
畝原 正雄

(5) 企画・運営のポイント

開催期日を土曜日から日曜日ではなく、利用者のニーズのある金曜日から土曜日の1泊とし、受付を夕方から開始することで参加者が参加しやすくなった。

また、係員が他の教育事業で広い視野をもって運営補助に当たれるよう、2日目の活動を事業推進係全員で分担し準備から指導までを行った。

3. 活動の内容等

(1) 日程等

				17:00	18:00	19:00			22:00
1日目					受付	天体観察	入浴・就寝 自由時間	就寝	
		7:45	8:00	9:00			11:30	*1日目は夕食の有無、観察時間帯の選択可能	
2日目	朝のつどい	朝食	活動 (事業の概要参照)		解散				

(2) 活動の状況



クリスマスリース作りの様子



どんぐり動物園の様子



しめ飾り作りの様子



和風作り

4. 成果・課題

(1) 成果

天体観察や自然物での工作をとおして家族間のふれあいを感じるとともに、星の講義を受講することにより、宇宙のすばらしさへの興味や2日目の活動に参加したことで自然に対する感性を高めることができた。

また、職員も2日目の体験活動を企画・運営することでリスクマネジメントの視点を新たにもつことができ、これからの業務に役立つ情報を得ることができた。

閑散期対策事業として、利用者数、稼働率の向上の一助として結果を残すことができた。

(2) 満足度

- ・事業全体に関する満足度・・・100%
- ・事業のプログラムに関する満足度・・・100%
- ・事業の運営面に関する満足度・・・100%
- ・職員の指導・助言に関する満足度・・・100%

(3) 利用者の声（一部）

- ・「ダッチオープンランチ」に参加したことにより、野外で調理をする事業に参加してみたい。
- ・天体観察は思った以上に星がきれいでもとても満足です。
- ・もっと大人数でにぎやかな雰囲気の中で事業に参加してみたい。

(4) 課題

今年度は、県北部への広報も行ったが、北部からの参加者は2%を切る結果となった。来年度は、広報の対象地域を再考し、参加者数を増やせられるよう、効率の良い広報活動を展開できるようにしていきたい。

また、係員の活動指導については、来年度も継続し、参加者の活動中の更なる安全確保に繋がられるためにどんな研修が必要かを確認していくことが求められる。

担当：事業推進係 黒田 雅秀